

## ◆日中韓の高校生による写真交流を実施！

8月4日（木）から8日（月）まで、日中韓の高校生による写真交流に参加するため、寧波市、済州特別自治道の高校生らが奈良市を訪問し、奈良市からは一条高校、奈良高校、東大寺学園高校の生徒たちが参加しました。

一行は、奈良市高校生観光特派員による奈良市の紹介や、入江泰吉記念奈良市写真美術館の百々館長らから写真についての講習を受けました。その後、各都市1人ずつ10班に分かれて、東大寺や奈良公園周辺、なら燈花会などで日中韓合同グループによるテーマ作品の制作を行いました。

制作のテーマは“見知らぬなら、見知ったなら”。高校生たちは、かつて東アジアからの文化が伝わった風景を、ともに行動することで感じ取り、カメラに収めていました。

また、一行はホームステイを通して、市民との交流を深めるとともに、日本の生活文化を身近に感じていました。

作品は8月9日（火）から28日（日）まで、高畑町の奈良市写真美術館で展示します。彼らの感じ取った“なら”を是非ご覧ください。



高校生観光特派員が奈良市を紹介



講習を受ける参加者たち

## ◆「高校生と創る演劇」夏休み特別ワークショップを開催！

「高校生と創る演劇」夏休み特別ワークショップを8月2日（火）・3日（水）の2日間にわたって、開催しました。

初日は17名の参加者があり、劇作家・演出家で劇団田上パル主宰の田上豊さん指導のもと、交流を生み出す様々なゲームを実施し、初対面同士も、経験者も未経験者も、みんなで身体を動かしながら楽しく学びました。

2日目はテキスト創作・発表もあり、参加者は演技の楽しさ奥深さを全身で感じていました。

10月のオーディションもワークショップ形式で行います。演劇未経験者も大歓迎です。多くの皆さんの参加をお待ちしています。



みんなで楽しく演劇を学びました

## ◆なら燈花会が開幕！ —蔡國強の“船”を占風灯でライトアップ—

現在開催中の「ライトアッププロムナード・なら2016」。東大寺鏡池の“船”も参加していますが、8月5日（金）から14日（日）までの燈花会の期間中は、ライトアッププロムナードの照明に代えて、船に設置した「占風灯」を用いてライトアップしています。

竹細工のシェードを持つ「占風灯」の明かりで浮かび上がる“船”の姿は、訪れた人々を幻想的な世界へと誘っています。

午後7時から午後10時まで点灯していますので、ぜひお越しください。

I・RA・KA 別館前では「Nara Food Caravan」のゲルが出店。夏の夜にぴったりの食をご用意していますので、お楽しみに！



占風灯の明かりで浮かび上がる船

## ◆巨大な塔が着々と！ 八社寺アートプロジェクト ～大安寺で制作開始～

突如現れた巨大な塔。

八社寺アートプロジェクトの一つ、大安寺会場で、アーティスト川俣正さんの「丸太足場の塔」の制作が始まり、5日（金）には川俣さんが現地に入り、作業の指揮を執りました。

かつては壮大な伽藍を誇り、七重塔が建っていた大安寺旧境内塔跡に、文化財の修理現場で継承されてきた社寺建築の丸太足場を組む技術を用い、往時の塔の姿を彷彿とさせる、現代アートが出現します。

8月1日（月）から始まった制作は、現在、作品制作のための足場が組み上げられ、丸太足場組みに入ったところです。

26日の完成に向けて、目下制作中です！

技術の継承にも一役買っているこの作品。ぜひ見に来てください。



丸太足場組みの作業



大安寺旧境内塔跡に現代アートが出現します

担当：奈良市東アジア文化都市推進課  
電話：0742-27-0120  
FAX：0742-27-0121  
Mail：[culturecity-nara@city.nara.lg.jp](mailto:culturecity-nara@city.nara.lg.jp)



公式HP



Facebook



Twitter